

第4回 あびこ e モニターアンケート

「感染症に関する意識・予防方法等の認知度について」集計結果

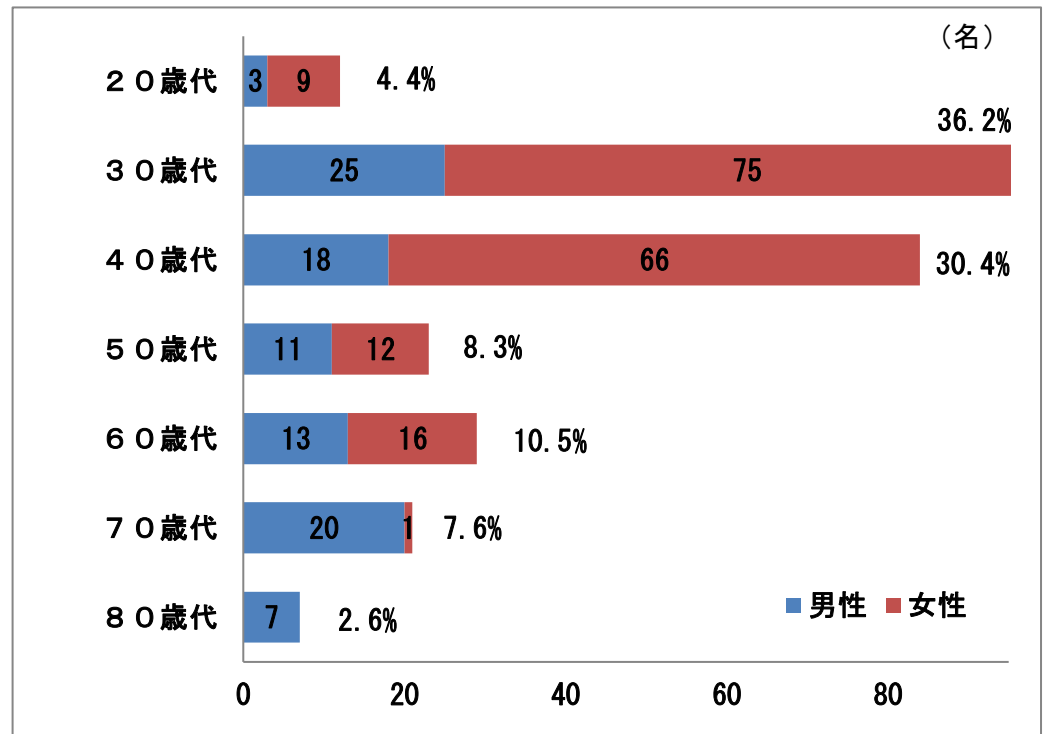
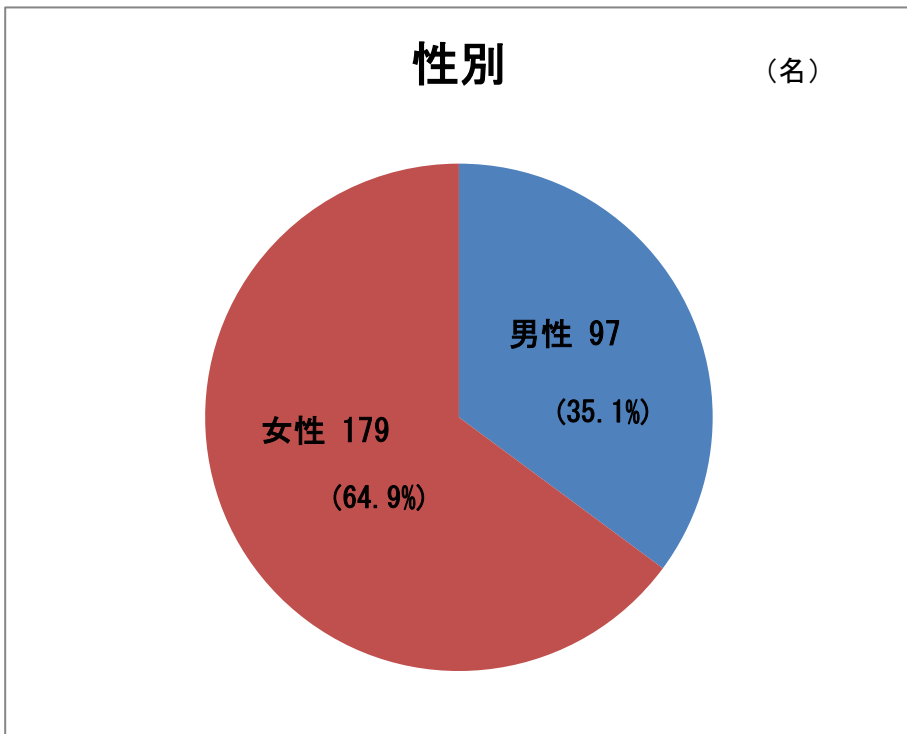
アンケート送信日	平成29年11月1日（水）
実施期間	平成29年11月1日（水）から平成29年11月14日（火）まで
登録者数	276名
回答者数	169名
回答率	61.2%

<実施の目的>

市では、市民の皆様が健康で充実した生活を送れるようにするため様々な事業を実施しており、今回は今後の感染症対策事業の充実を図るため、感染症に関する意識や予防方法等に関する認知度についてアンケートを実施します。

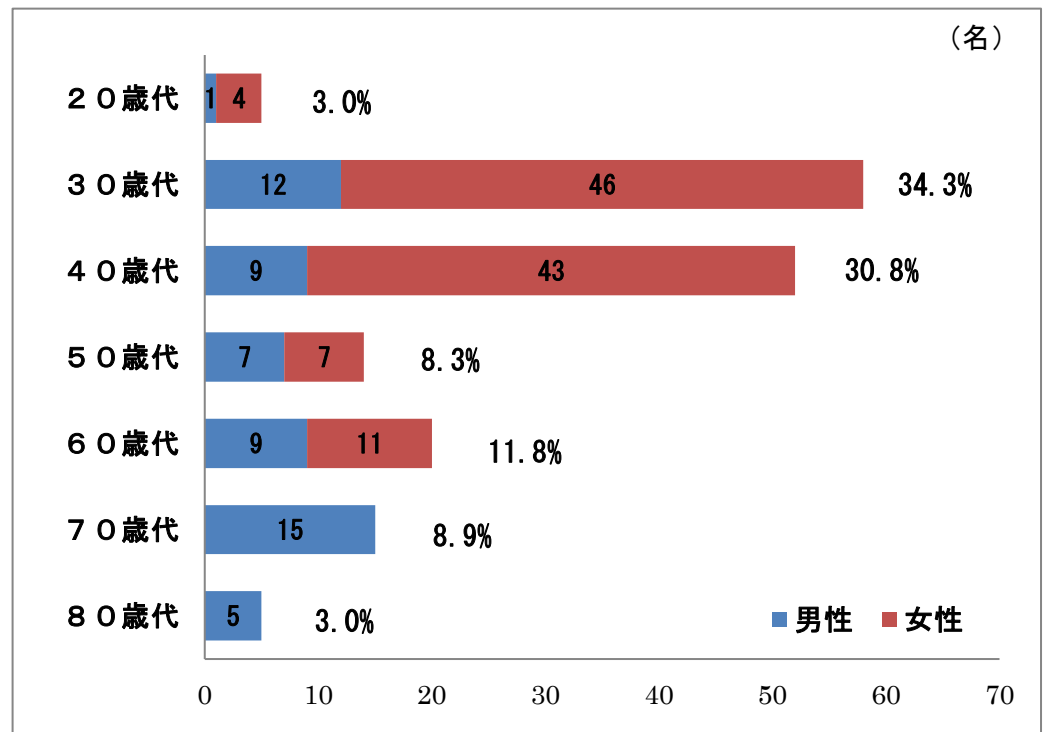
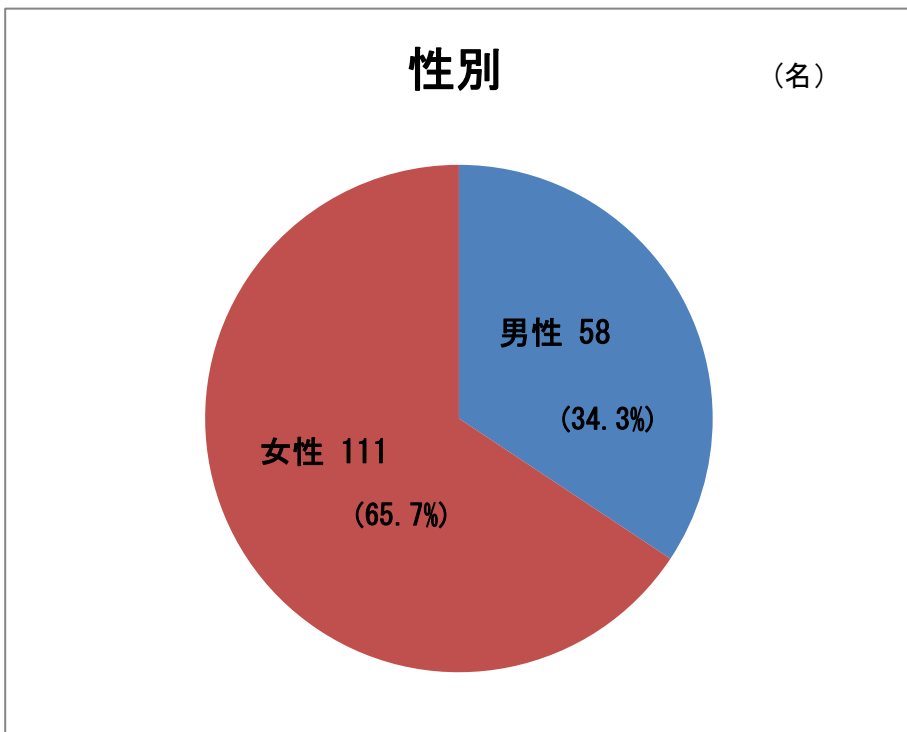
<あびこ e モニターアンケート登録者の内訳>

平成29年11月14日現在

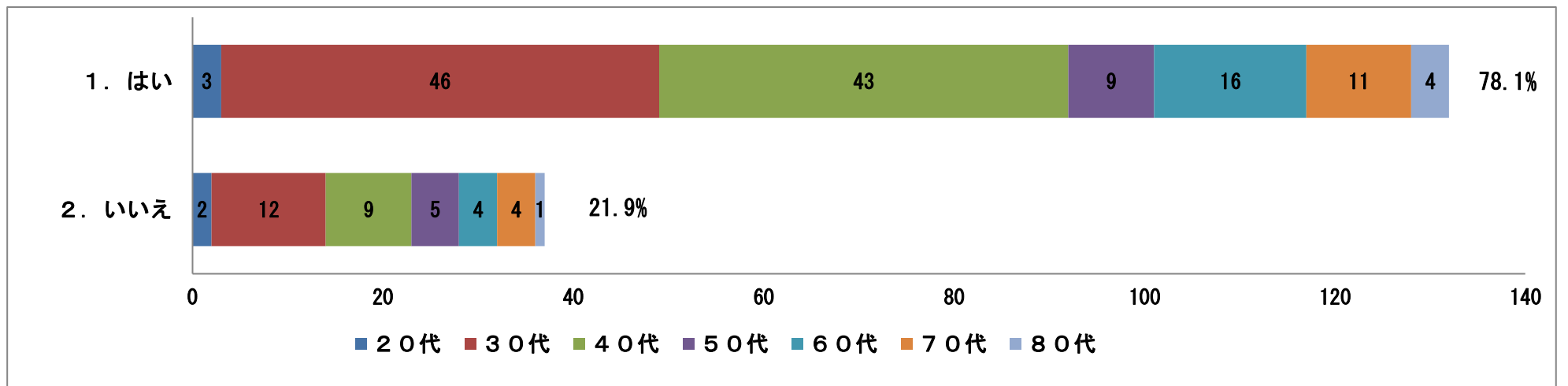


<アンケート回答者の内訳>

平成29年11月14日現在



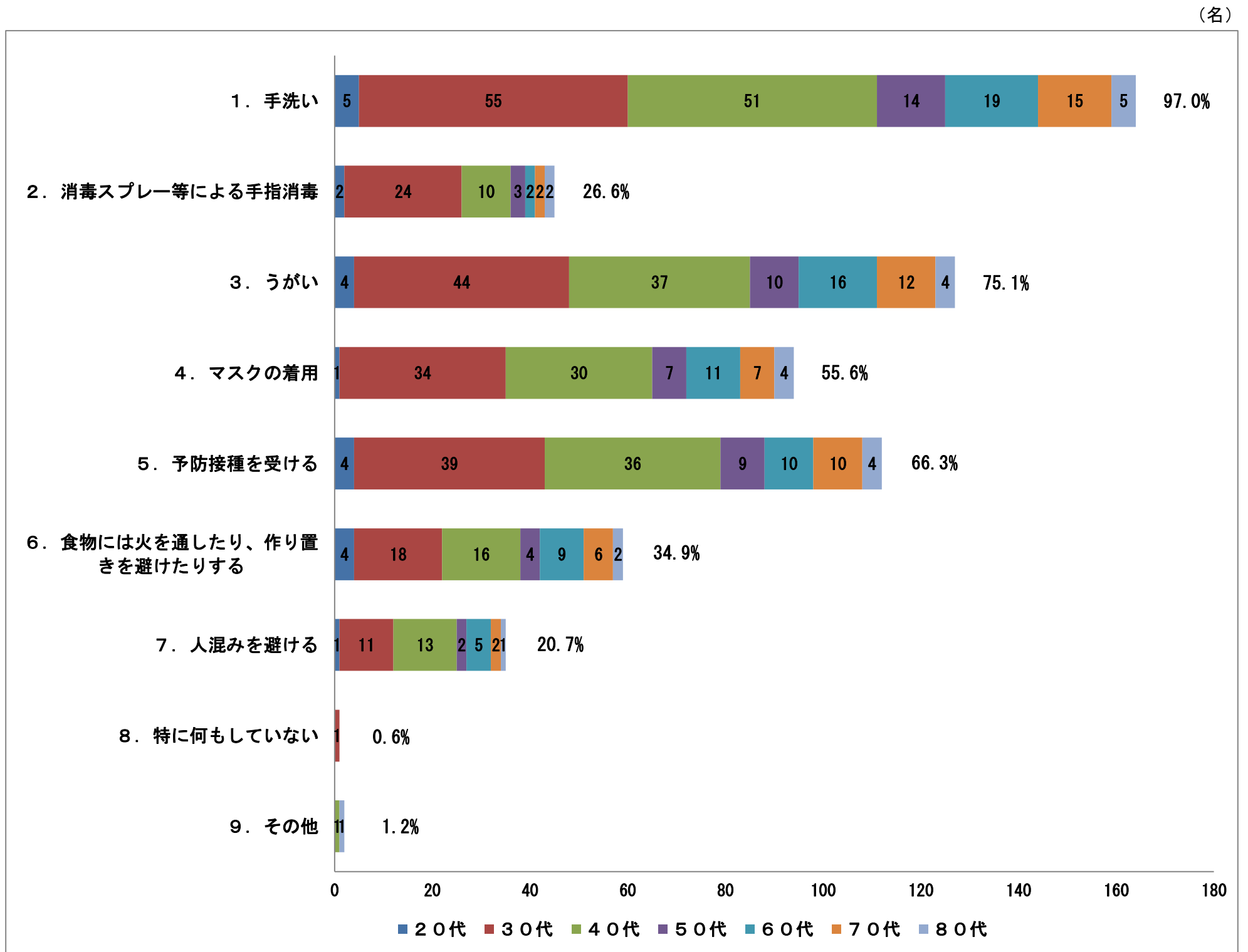
問1 あなたは、自身やあなたの家族に対して、積極的に感染症予防を行っていますか。
(名)



<コメント>

8割近くの方が積極的に感染症予防をしている結果となりました。
感染症予防には一人ひとりが予防に取り組むことが大切です。引き続き感染症予防に取り組んでください。

問2 あなたやあなたの家族が日頃行っている感染症予防対策をお選びください。
(複数選択可)



<その他>

1	森永の体を強くするドリンクを飲んでいる。
2	洗濯物は日光干しして乾かす。

<コメント>

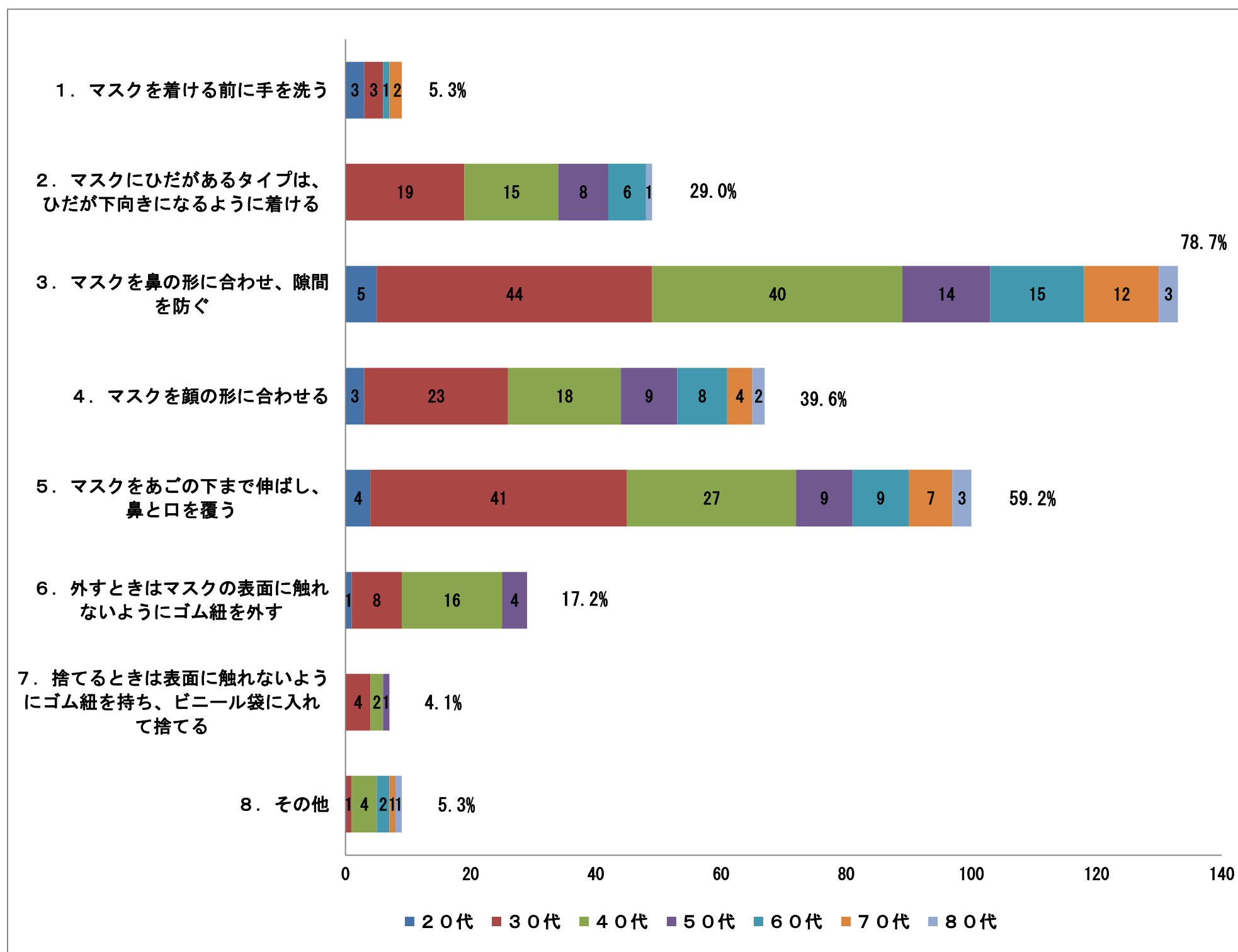
97%の方が「手洗い」をしているという結果となりました。

正しい手の洗い方は、①流水で手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこする。②手の甲をのぼすようにこする。③指先・爪の間を念入りにこする。④指の間を洗う。⑤親指と手のひらをねじり洗いする。⑥手首も忘れずに洗う。という方法になります。

引き続き、正しい手洗い方法も含め、感染症予防に取り組みましょう。

問3 マスクを着けるときや外すときに気をつけていることをお選びください。
(複数選択可)

(名)



<その他>

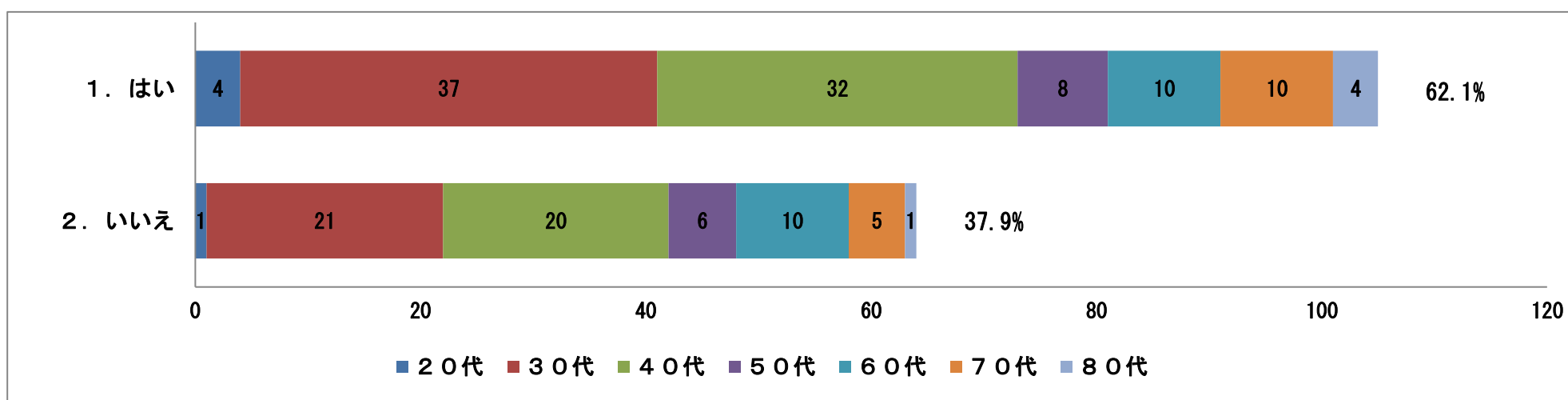
1	マスクつけない。咳が酷い時以外は着けない。 ※同様回答複数あり
2	特に気をつけていません。 ※同様回答複数あり
3	眼鏡がくもらないようにする。
4	マスクをして外出から帰ると、マスクをすぐに捨てる。

<コメント>

選択肢1～7は、全て正しいマスクの着け方・外し方となっています。
今後マスクを使用する際には気をつけてください。

問4 感染症予防対策は、感染症によって違うことを知っていますか。

(名)



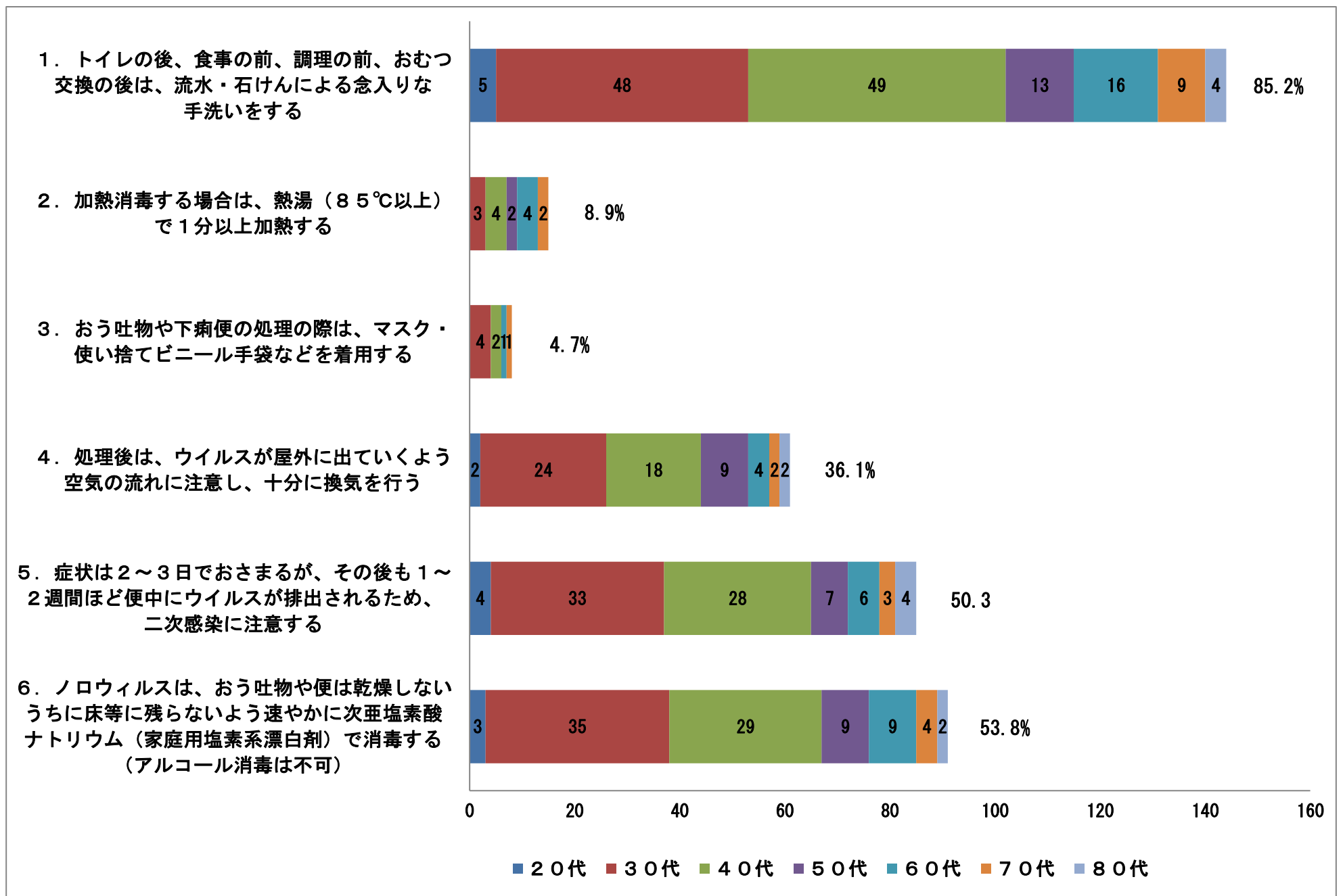
<コメント>

半数以上の方が感染症によって予防対策が違うことを知っているという結果になりました。

市ではホームページや広報、保健センターだより等で感染症予防について情報提供を行っています。これから感染症が流行する時期となりますので、是非ご活用ください。

問5 感染性胃腸炎に関して、知っているものをお選びください。(複数選択可)

(名)



<コメント>

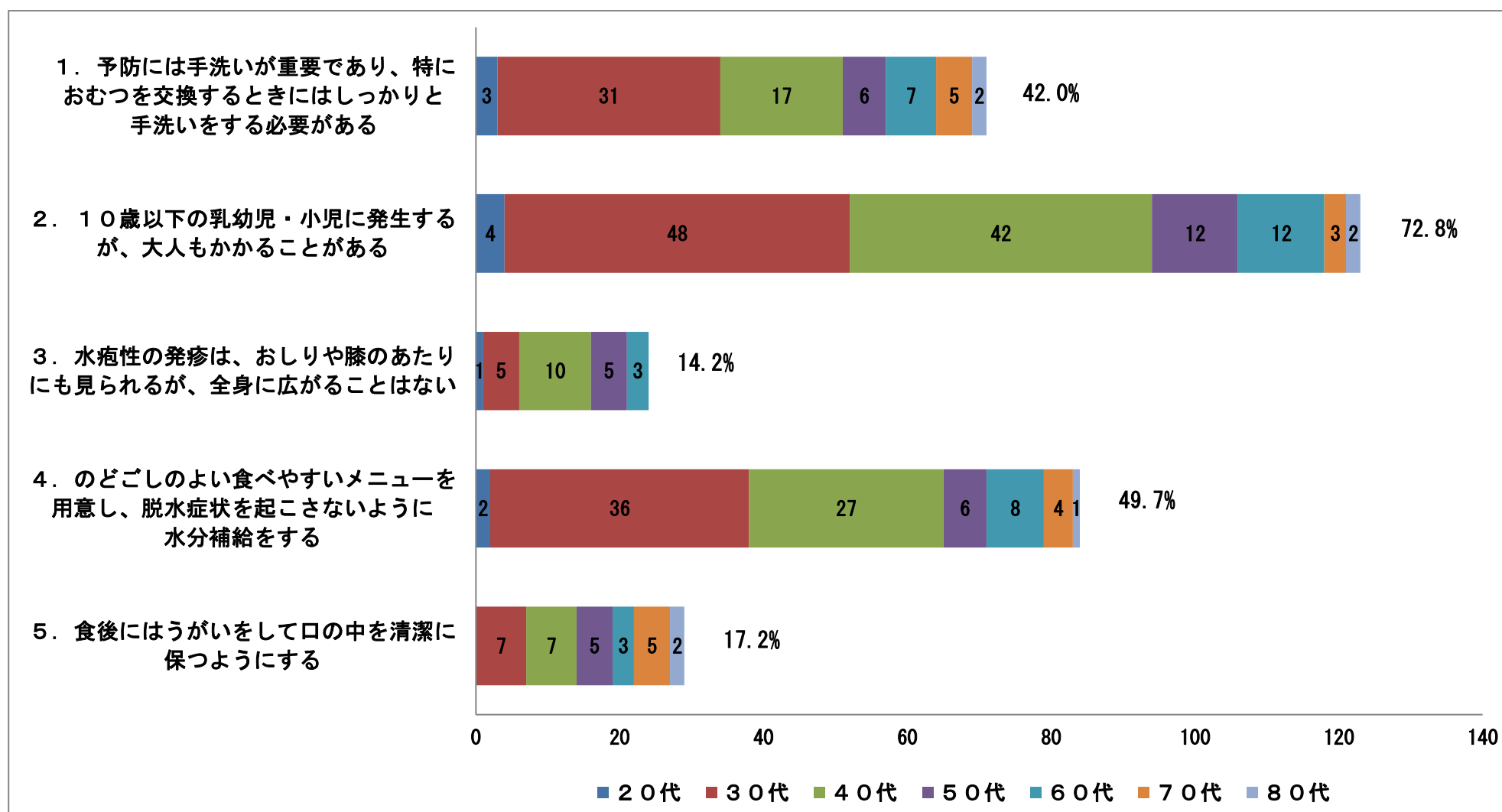
選択肢1~6は全て正しい対処方法となっています。

「おう吐物や下痢便の処理の際には、マスク・使い捨てビニール手袋などを着用する」を知っている方が4.7%と最も低い結果となりました。

感染性胃腸炎に関しては、市のホームページや保健センターだより等で情報提供を行っています。また、管轄の松戸保健所ホームページにて千葉県と東葛管内の感染症情報が公開されていますので、ご活用ください。

問6 口の中の水疱のほかに、手のひら、足の裏、手や足の指と指の間を中心とした場所に水疱性の発疹が見られると、手足口病が疑われます。手足口病について、知っているものをお選びください。(複数選択可)

(名)



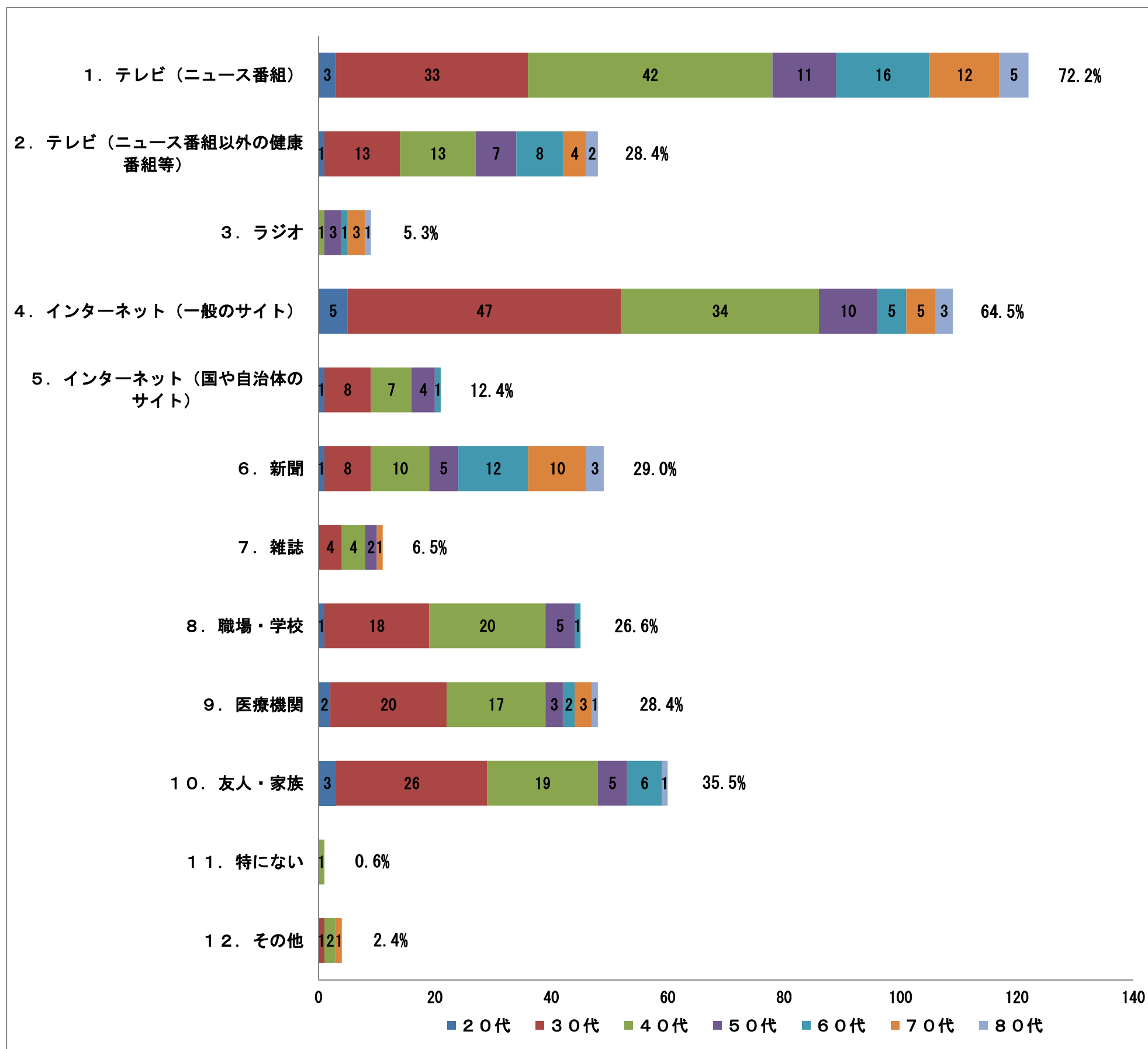
<コメント>

「水疱性の発疹は、おしりや膝のあたりにも見られるが、全身に広がることはない」、「食後にはうがいをして口の中を清潔に保つようにする」を知っている方が低い結果となりました。

手足口病には有効なワクチンや予防薬はありません。接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することが大切です。また、厚生労働省ホームページに、手足口病に関するQ&Aが公開されていますのでご活用ください。

問7 あなたは、感染症の情報を何から得ることが多いですか。(複数選択可)

(名)



<その他>

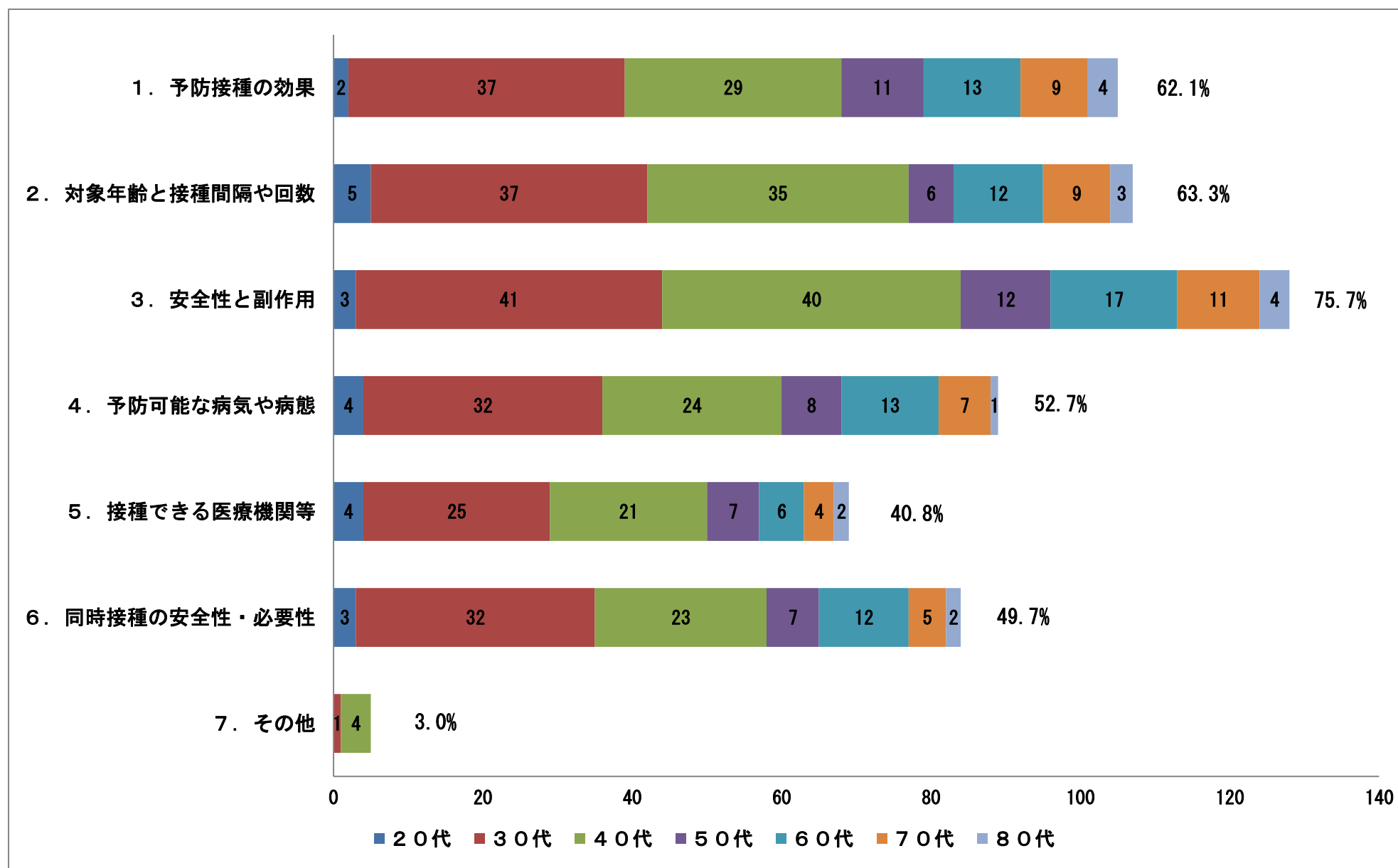
1	子どもが通う保育園
2	広報あびこ
3	保健所の広報
4	健康に関する講演会に積極的に参加する。

<コメント>

「テレビ (ニュース番組)」、「インターネット (一般のサイト)」で情報を得ている方が半数以上という結果となりました。感染症情報に関しては市のホームページや保健センターだより等で情報提供を行っております。また、管轄の松戸保健所ホームページにて千葉県と東葛管内の感染症情報が公開されていますので、ご活用ください。

問8 予防接種に関してどのような情報があればいいと思いますか。(複数選択可)

(名)



<その他>

1	医療機関によって予防接種の費用が違うので、比較できる資料が欲しい。 ※同様回答複数あり
2	接種する場合としない場合のリスク比較。リスク学については中西準子氏の書籍が参考になります。
3	接種間隔。抗体が出来るまでの期間
4	追加の予防接種があった場合、どちらを優先するか？またどの位期間を空ければよいか？

<コメント>

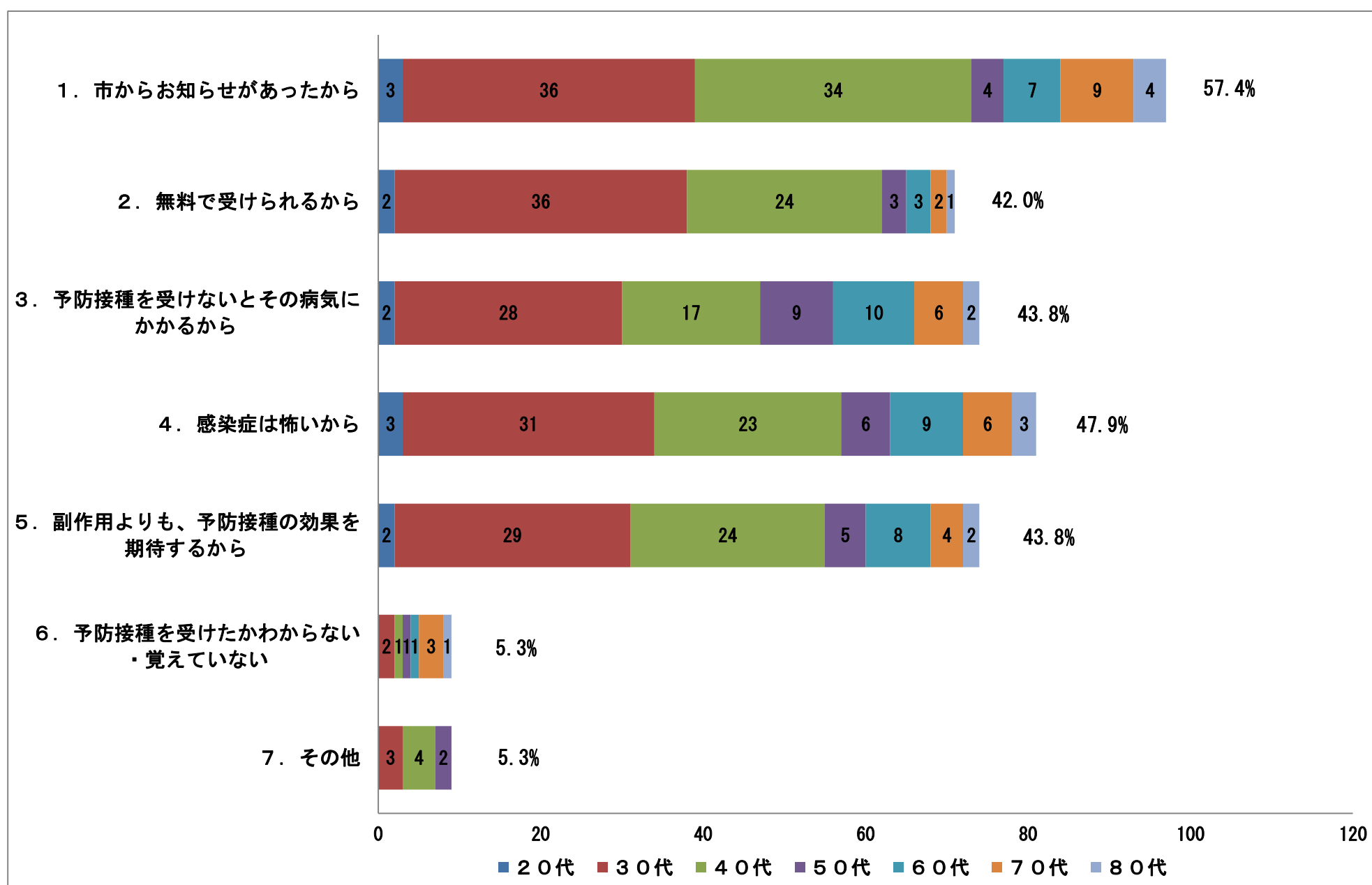
「安全性と副作用」が75.7%と最も多い結果となりました。

感染した場合の症状やリスク、予防接種の作用・副作用については、予診票に同封しているご案内や、ホームページでも情報提供を行っています。

また、お電話でのご相談もできますので、健康づくり支援課（7185-1126）までご連絡ください。

問9 過去に予防接種を受けたこと（お子さんの接種も含む。）に関し、きっかけとなった理由をお選びください。（複数選択可）

（名）



<その他>

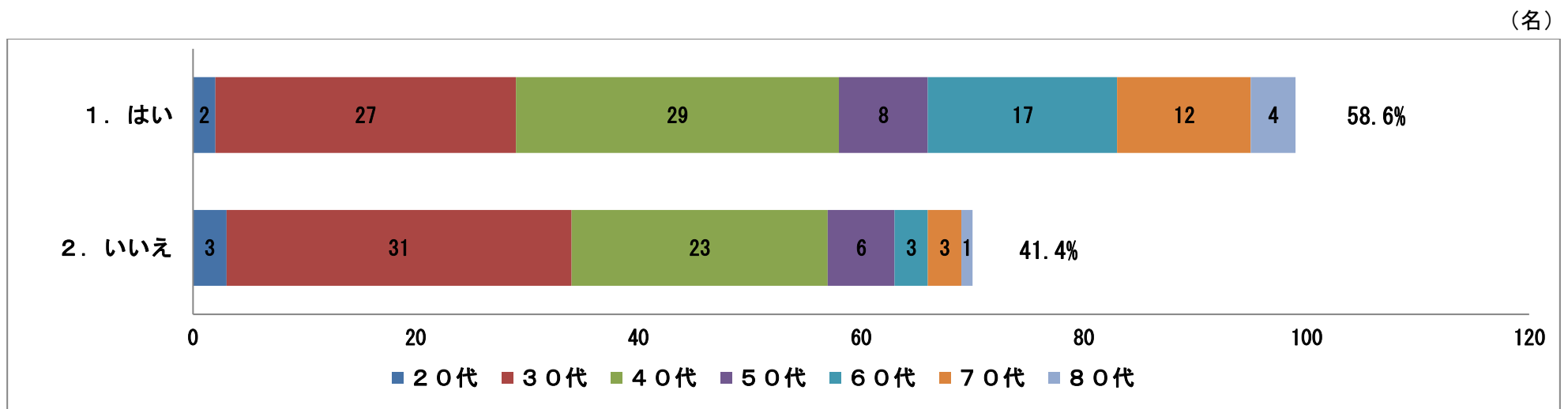
1	会社で予防接種費用を負担してくれるので。
2	健康保険から補助が出るから
3	健保組合や会社からのお知らせ
4	会社からの命令で
5	上司に強く推奨されたから
6	家族にすすめられたから
7	学生時代、学校で実施されていたので。
8	昔、小学校でBCGなどの予防接種を受けた。
9	インフルエンザは毎年接種

<コメント>

「市からお知らせがあったから」が57.4%と最も多い結果となりました。今後も市民の方の健康増進を図るため、事業を推進してまいります。

問10 65歳以上の方で、初めて高齢者肺炎球菌予防接種を受ける場合、費用の助成があることを知っていますか。(生涯1回)

(国が定める助成の対象者は、65歳以上の5歳刻みの方で、平成29年度内に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳ですが、我孫子市では65歳以上の方を対象にしています。)

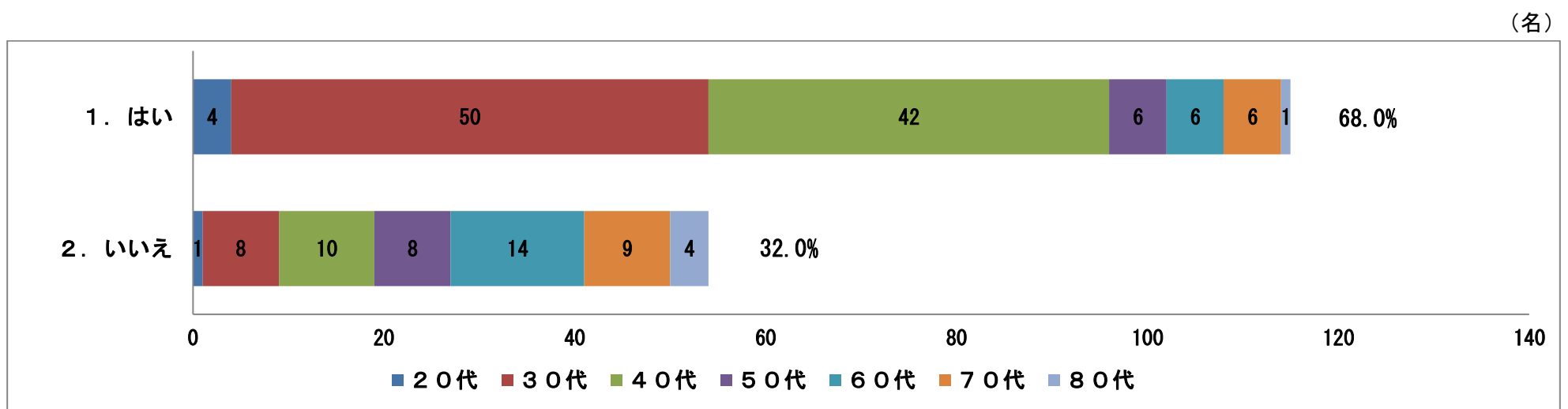


<コメント>

市では、初めて高齢者肺炎球菌予防接種を受ける65歳以上の方に対して、費用助成を行っています。

対象となる年代の方の中にも「いいえ」と答えた方がいらっしゃることから、今後も広報等での周知を継続して実施してまいります。

問11 我孫子市には、市独自で生後6か月児から小学校6年生までを対象に、小児インフルエンザ予防接種の費用の助成があることを知っていますか。

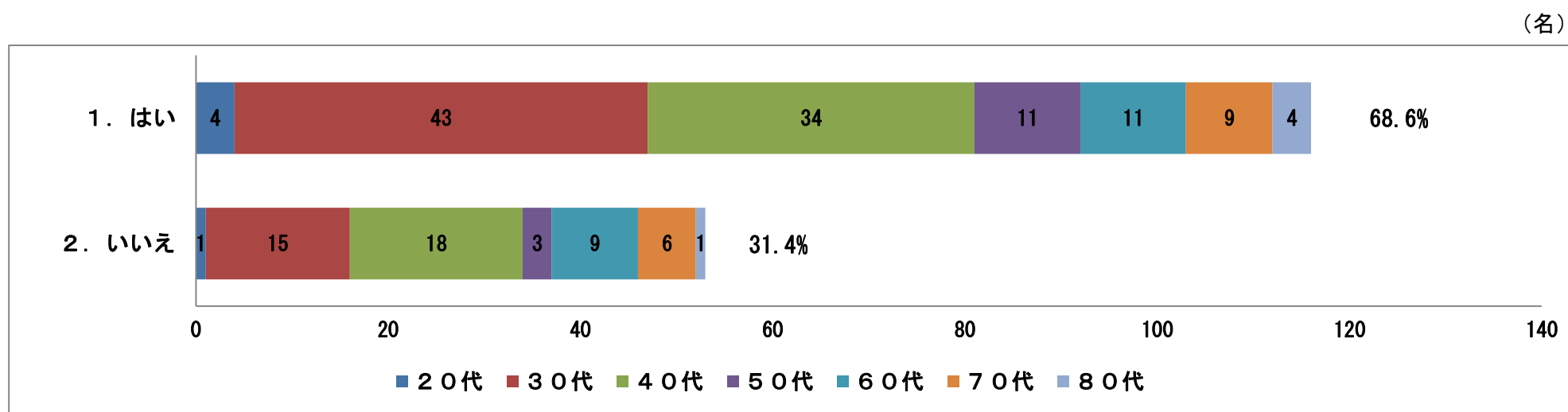


<コメント>

市では、生後6か月児から小学校6年生までを対象に、小児インフルエンザ予防接種の費用助成を行っています。

「いいえ」と答えた方が3割ほどいらっしゃることから、今後も広報等での周知を継続して実施してまいります。

問12 あなたは、この1年でインフルエンザの予防接種を受けましたか。(お子さんの接種も含む。)



<コメント>

「はい」と答えた方が7割程という結果となりました。

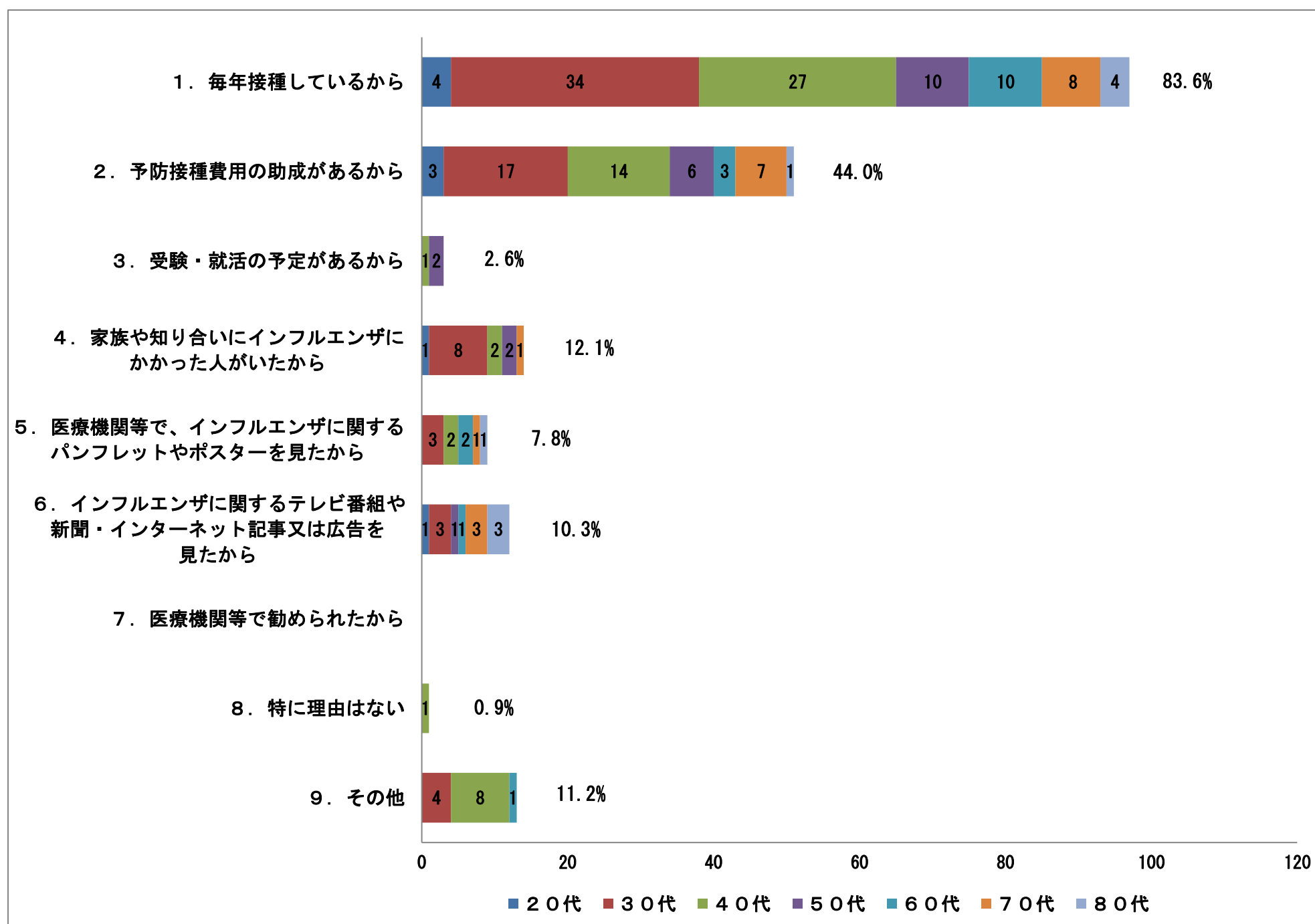
感染症を予防するためには、予防接種のほか、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。

感染症予防には一人ひとりが予防に取り組むことが大切です。引き続き感染症予防に取り組んでください。

問13 (問12で「1. はい」と答えた方にお聞きします。)

あなたがインフルエンザ予防接種を受けたきっかけや理由をお選びください。(複数選択可)

(名)



<その他>

1	子どもは1歳の冬に続けて2回発症したため、重症化や脳症が怖くなり2歳からは毎年接種。私自身も以前から発症しやすく、妊娠中も発症したことから、産後は子どもへの感染抑止も兼ねて毎年接種しています。接種後も発症リスクはありますが、我が家は幸いにも接種してから発症していません。
2	会社が推奨し無料で受けられるから
3	子供が集団生活を始めて、病気をいっぱいもらってくるので親子で接種しました。
4	高齢者に接することが多い職場をしているため、自分が高齢者にうつさないように。
5	保険
6	子供が通う保育園や学校で、自分の子供から他の子供達にうつしたくないから
7	感染して職場に迷惑をかけないように
8	妊婦だから
9	インフルエンザにかかると大変だから
10	職場で受けられるから
11	人が集まる所で働くようになったので、自分が中継してインフルエンザを拡散させたくない。
12	各種行事等にインフルエンザで出席出来ないのは自己管理責任と思うので。
13	保育園に通っているため

<コメント>

「毎年接種しているから」と答えた方が8割程という結果となりました。

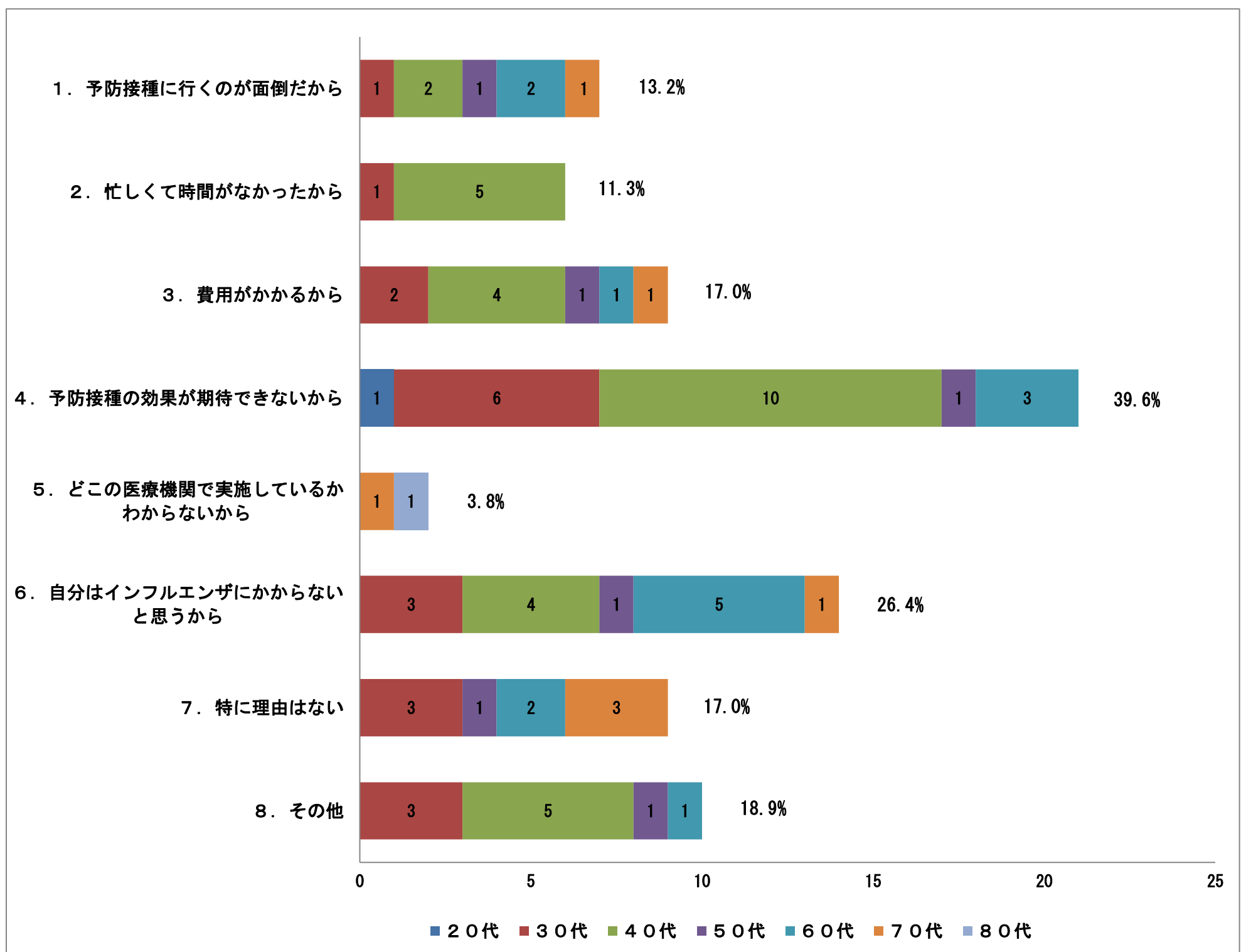
感染症予防には一人ひとりが予防に取り組むことが大切です。引き続き感染症予防に取り組んでくださいますようお願いいたします。

今後も広報等での周知を継続し、市民の方の健康増進を図るため、事業を推進してまいります。

問14 (問12で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。)

インフルエンザ予防接種を受けていない理由をお選びください。(複数選択可)

(名)



<その他>

1	過去に、卵アレルギーに関係する副反応が出たから。
2	副作用で困っている人がいるから。
3	予防接種の効果より、副作用の心配の方が大きかったから。
4	一度接種したら腕が腫れてしまい高熱が出て辛い思いをしたので怖くて受けられない。
5	副作用で全身にじんましんが出たことがあるため。
6	副作用が怖いから
7	ワクチンがないと友人に聞いた。
8	病院に勝手にキャンセルされた。
9	菌を一番持ち込む可能性がある、主人に受けさせている。
10	毎年打っていたが、毎年誰かは罹るし、接種してもしなくても抗インフルエンザ薬を処方されると比較的早く良くなる為、接種する必要性を感じなくなった。

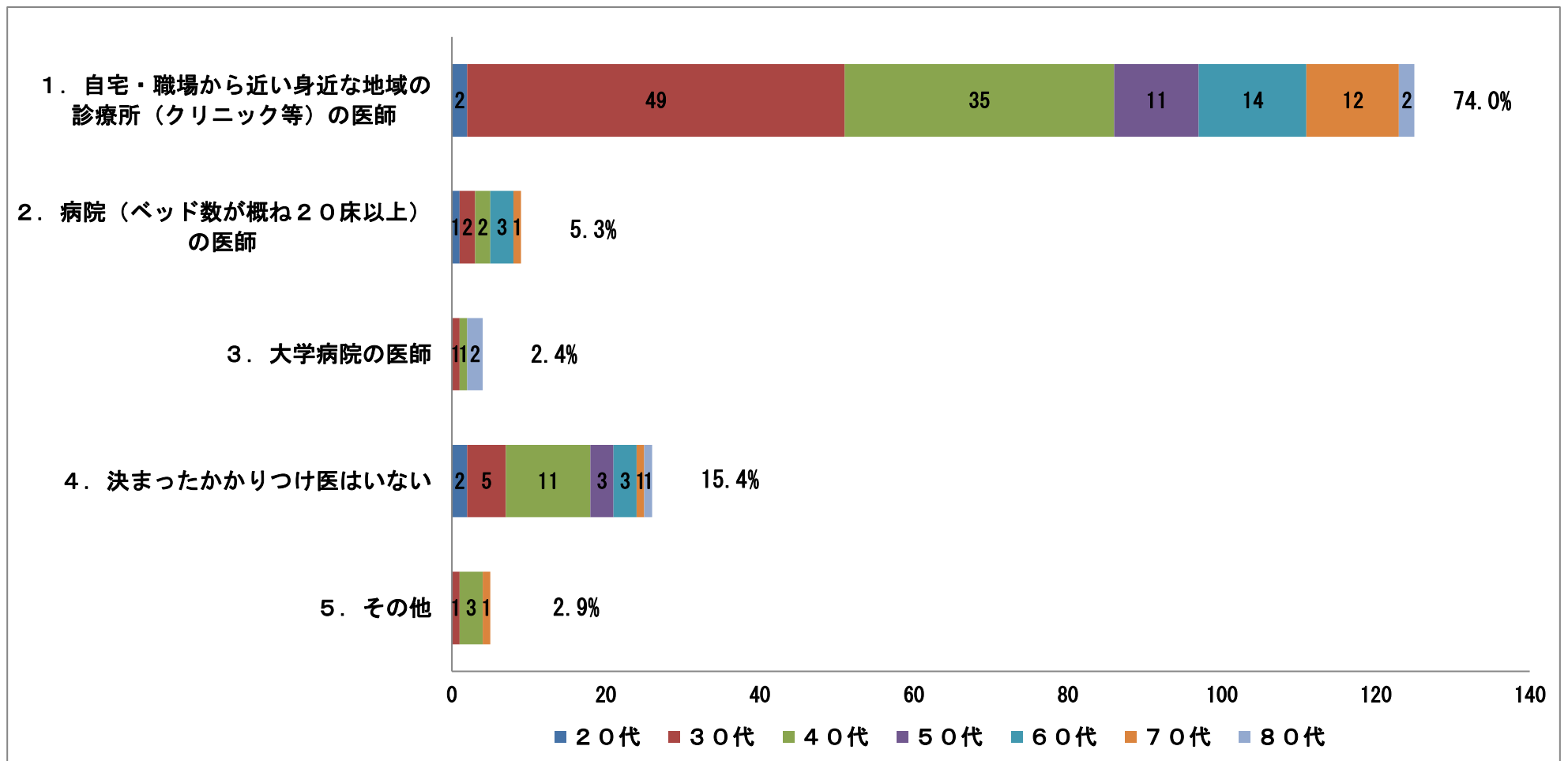
<コメント>

「予防接種の効果が期待できないから」と答えた方が4割程という結果となりました。インフルエンザ予防接種の最も大きな効果は重症化予防です。また、予防接種の効果や副反応の状況は個人差もあります。

感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。

問15 あなたのかかりつけ医は次のどれですか。

(名)



<その他>

1	遠くても信頼できるクリニック
2	大学病院から紹介されたクリニック
3	子供のアレルギーは、我孫子市の病院では治療ができず、柏市の病院に通い、負荷試験ができ、治療もできる流山市の病院を紹介してもらったため。
4	自宅に近いクリニックと持病に関しては総合病院
5	県外の実家近くの病院

<コメント>

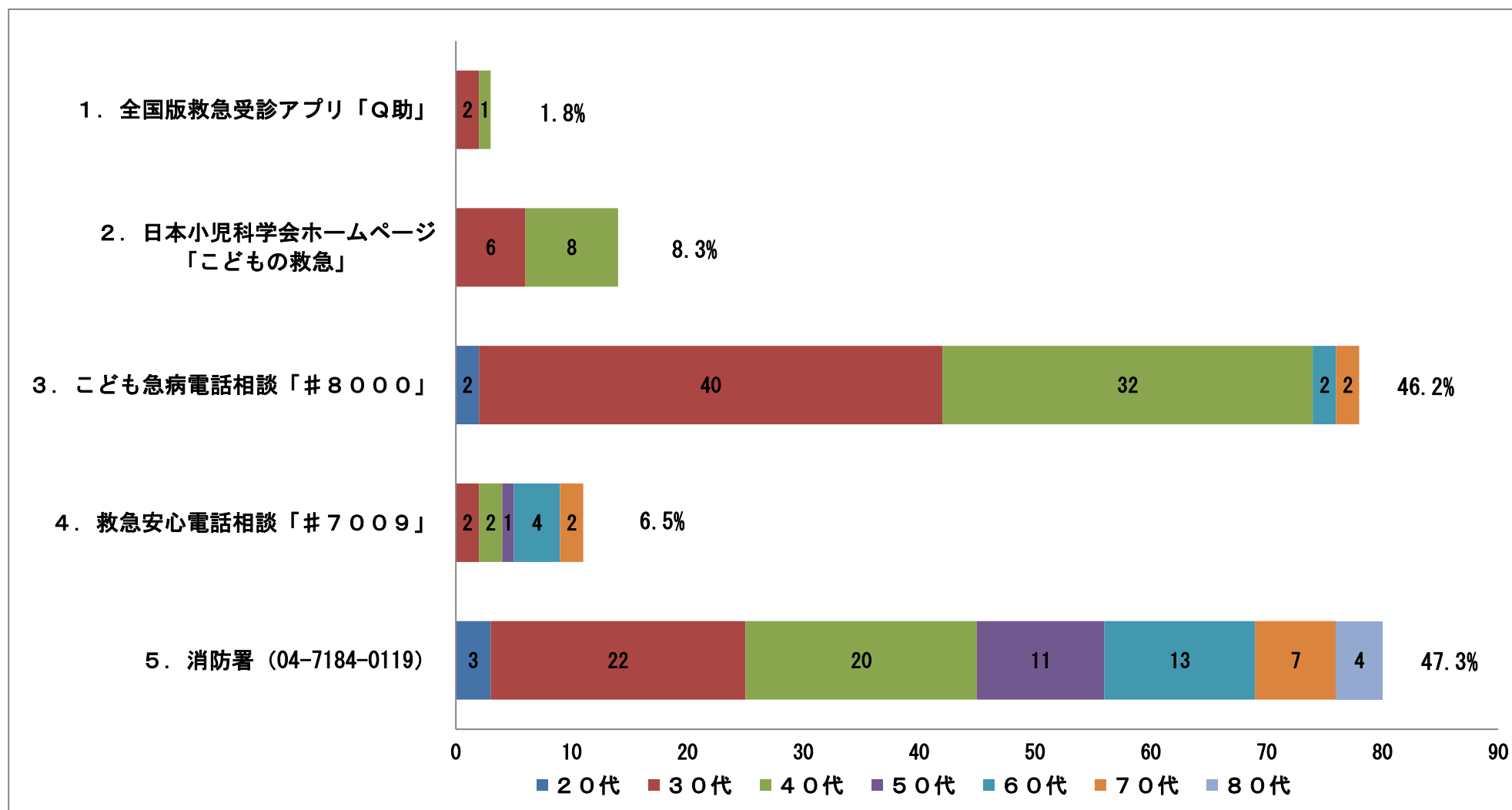
「決まったかかりつけ医はいない」と答えた方が2割程という結果となりました。救急病院や休日診療所では、救急患者を扱うため、普段の患者の状況等を細かく把握できないことがあり、その場合は応急処置を基本に行うこととなります。

普段から、かかりつけ医と「症状の変化」や「対応方法」についてよく話をしておくことで、病歴やアレルギーの有無、普段の状態等の情報を正しく伝えることができ、適切な救急医療の処置につなげることができます。

突然の身体の異変や緊急の事態が発生した場合でも、かかりつけ医がいれば、より確かな対処につながるので安心です。普段から本人や家族の健康状態について相談できるかかりつけ医を持つようにしましょう。

問16 ご自身や家族の方が休日や夜間に具合が悪くなったときに、病院にかかるかどうか判断するための窓口やサービスがあります。知っているものをお選びください。(複数選択可)

(名)



<コメント>

「#8000」、「消防署」と答えた方が半数程という結果となりました。

どのサービスや窓口も認知度が高いとは言えない状況のため、今後も広報等での周知を継続して実施してまいります。

自由記述欄

問 17 感染症や予防方法等に関することも含め、市政に対してご意見やご感想がありましたらご記入ください。(自由記述)

(48件)

(1) 健康づくり支援課(感染症や予防方法等を含む。)に関するご意見やご感想

1	<p>インフルエンザの予防接種の予約が毎年とれない。また、幼児と母が同時に受けられず何度も病院に行かなければならない現状。集団接種の場所を設けて欲しい。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 予防接種は、発熱、発疹などの副反応が生じることがあるだけでなく、ごくまれに死亡、重度の神経障害などの重篤な副反応が生じることがあります。国では、副反応の発生を少なくするために、個人の健康状態を相談しながら予防接種を行う個人接種を原則としており、集団接種は推奨していません。 そのため、予防接種は、接種を希望する方が直接医療機関にご連絡していただいております。幼児と大人が同時に接種できる医療機関もございます。 現在ワクチン数が不足しており、例年よりも予約が取りにくい状況かと思っておりますがご理解くださいますようお願いいたします。</p>
2	<p>毎年インフルエンザの予防接種受けていたましたが、今年は副作用が起きて大変でした為もう受けません。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後とも健康づくりの推進にご協力くださいますようお願いいたします。</p>
3	<p>インフルエンザ予防接種は、周囲への影響も考慮して、市民全員に補助金を出してほしいです。</p> <p style="text-align: right;">(50代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 インフルエンザ予防接種の最も大きな効果は重症化予防であり、予防接種は有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、すべての方を対象とした助成を行うことは困難な状況です。 市では、重症化しやすい高齢者や、集団感染しやすい小児に対して、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業を、優先順位をつけて実施しています。 感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>
4	<p>何か例年と違う事象(例えば、感染の全国的広がり、ワクチンの不足、今までの医療常識と違う知見、等々)がある場合、ホームページや広報で速やかに伝えていただければいいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p>

	<p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 市では国や県からの警報等、注意喚起があった際には、ホームページ等で情報提供を行っております。また、健康づくりに関する情報のメール配信もしておりますので、是非ご登録ください。 〔ホームページ：トップページ＞市政情報＞広報＞メール配信サービス〕 感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後も市民の方の健康増進を図るため、情報提供を行ってまいります。</p>
5	<p>簡単で分かりやすい内容のパンフがほしい。 （60代 男性）</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 国や県等から健康づくりに関するパンフレットの提供があった際は、保健センターの1階等に設置しているほか、市独自で作成している保健センターだよりでも健康づくりに関する情報をご紹介します。保健センターだよりは市内の公共施設等で配布しているほか、ホームページでダウンロードすることもできますので、是非ご活用ください。</p>
6	<p>助成がでる予防接種を増やして欲しい！ インフルエンザは大人も助成してほしい。 （30代 女性）</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 予防接種は、個人の病気の発症予防や重症化予防とともに、集団感染やまん延予防という社会防衛的役割もあり、疾病の予防に有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、助成の拡大や、すべての方を対象とした助成を行うことは困難な状況です。 市では、重症化しやすい高齢者や集団感染しやすい小児に対して、小児インフルエンザ予防接種・ロタウイルス感染症予防接種・高齢者肺炎球菌予防接種・高齢者インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業を優先順位をつけて実施しています。 また、健康づくりに関する情報のメール配信もしておりますので、是非ご登録ください。 〔ホームページ：トップページ＞市政情報＞広報＞メール配信サービス〕 感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>
7	<p>大人も助成してほしい。 （20代 男性）</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 インフルエンザ予防接種の最も大きな効果は重症化予防であり、予防接種は有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、すべての方を対象とした助成を行うことは困難な状況です。 市では、重症化しやすい高齢者や、集団感染しやすい小児に対して、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業を、優先順位をつけて実施しています。</p>

	<p>感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。</p> <p>今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>
8	<p>予防接種の効果と副作用の危険性を今一度明確にした上で費用補助を検討願います。市民の健康にマイナスの場合は補助はらないと思います。</p> <p style="text-align: right;">(50代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>感染した場合の症状やリスク、予防接種の作用・副作用については、ホームページ等で情報提供を行っており、ワクチン接種の有効性及び安全性等について、十分理解していただいた上で接種していただくようご案内しております。</p> <p>今後も国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>
9	<p>昨年、子供用のインフルエンザ予防接種予診票が郵送で送られてきたので、予約タイミングを逃さず助かりました。</p> <p>今年は届かなかったため、病院で受け取って書きました。</p> <p>できれば郵送してもらいたいところですが、受診しない家庭にも送ることになるため、手間や郵送料を考えると難しいところですね。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p> <p>日頃より健康づくり事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。</p> <p>小児インフルエンザ予防接種に関しては、広報やホームページ等で周知しており、予診票は、契約医療機関に設置してあるほか、我孫子市ホームページからダウンロードしてご利用いただけます。</p> <p>さらに、市内保育園・幼稚園・小学校在籍児には、各施設を通してご案内しております。</p> <p>今後も市民の方の健康増進を図るため、事業を推進してまいります。</p>
10	<p>第一子が乳児の頃に子ども救急電話相談に何度かかけましたが繋がらず意味がなかった事がありますので残念でした。</p> <p>インフルエンザの予防接種の値段に差がありすぎる様な気がします。</p> <p>小児科の病院は沢山あり助かりますが、医師の数が足りないのか検査の出来る病院や夜間も対応してもらえる病院は非常に混むので対処してほしいです。よろしくお願い致します。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>#8000のほか、休日・夜間に急病になったときは、消防署（電話：04-7184-0119）にお電話ください。対応できる病院をご案内します。</p> <p>我孫子市は7病院（市内6つの救急病院と取手市のJAとりで総合医療センター）と救急協定を締結しており、夜間も、市民から消防本部への問い合わせがあった際、対応できる病院をご案内できる体制を整えています。</p> <p>今後とも各病院、我孫子医師会と連携しながら救急医療体制の充実に努めてまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>なお、名戸ヶ谷あびこ病院では24時間365日小児も含めて全ての救急を受け入れ、小児科</p>

医師ともオンコール※で連携をとりながら対応しています。(※オンコール：携帯電話・タブレット等で常に連絡をとり対応できる体制)

インフルエンザの予防接種は自由診療（健康保険適応外）のため、人件費・診察費用等を含んだ料金を医療機関独自で設定するため、値段に差が生じます。市では、小児インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業も実施しております。今後も市民の健康増進を図るための事業を推進していきます。

1 1

虫歯が感染することをしっかり広めて欲しい。

子宮頸がんワクチンの過剰な心配を払拭して、ワクチンで多くの命を救って欲しい。

福島第一原発事故による放射線影響について、日本学術会議が「次世代への影響が考えられない」ということは「科学的に決着がついている」と結論付けたことを確認し、甲状腺がんの過剰診断を積極的に止めて欲しい。

(40代 男性)

【健康づくり支援課 回答】

ご意見ありがとうございます。

《虫歯の感染について》

むし歯に関係する細菌などは1歳半～3歳ごろに感染すると言われていています。その頃の感染を防ぐよう市では乳児向けの教室や1歳6か月児健康診査、2歳8か月児歯科健康診査（我孫子市独自事業）、3歳児健康診査を行っています。さらに、永久歯の萌出時期に5歳児健康診査（我孫子市独自事業）を行い、情報提供しています。

また、感染したとしても、口腔内を清潔に保つことにより歯と口腔の健康は維持することができます。

そのため、市では各種健診等において歯の健康に関して啓発を行う他、保健センターだより等で情報発信を行っております。

また、今年度より成人の歯科健診を30歳以上だったものを20歳以上に対象者を拡大し、6024歯科健康診査として開始しました。これまで実施していた、市内保育園・幼稚園・小学校でのフッ素洗口も継続して実施しています。今後も、歯と口腔の健康づくりについて市民のみなさまに知っていただけるよう啓発してまいります。

《子宮頸がんワクチンについて》

現在、厚生労働省から勧告を受け、本市においても、子宮頸がん予防ワクチン接種の対象者又はその保護者への積極的な勧奨を差し控えることとしております。対象者のうち、接種を希望する方については、これまでどおり定期接種として接種できますが、ワクチン接種の有効性及び安全性等について、十分理解していただいた上で接種していただくようご案内しております。

《甲状腺について》

市では、平成24年4月1日から千葉県内で先駆的にホールボディカウンタ測定（内部被ばく線量測定）費用の一部助成を行っています。その中で、放射線医学の立場からホールボディカウンタによる内部被ばく線量の測定結果について評価していただき、『放射線医学の立場からは、「健康に特別な影響を及ぼす数値ではない」と考えます。私たちは、日々自然界からより多くの放射線を受け続けています。その数値と比較すると、検出された数値は人体に影響を与えるとは考えにくい数値です。』との評価を受けています。しかし、子どもの健康を守り、保護者の不安の軽減に努めることは重要と考え、平成28年度からは甲状腺検査費用助成事業を実施しています。

今後も環境省で実施している専門家会議や福島県の県民健康調査の動向等を注視していきます。

1 2	<p>#8000 に夜間電話したことがあったが全くつながらなくて役に立たなかった。子供が急病なのにつながらないとか困ってしまいました、使えないサービスだと思いました。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 #8000 のほか、休日・夜間に急病になったときは、消防署（電話：04-7184-0119）にお電話ください。対応できる病院をご案内します。 我孫子市は7病院（市内6つの救急病院と取手市のJAとりで総合医療センター）と救急協定を締結しており、夜間も、市民から消防本部への問い合わせがあった際、対応できる病院をご案内できる体制を整えています。 今後とも各病院、我孫子医師会と連携しながら救急医療体制の充実に努めてまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。 なお、名戸ヶ谷あびこ病院では24時間365日小児も含めて全ての救急を受け入れ、小児科医師ともオンコール※で連携をとりながら対応しています。（※オンコール：携帯電話・タブレット等で常に連絡をとり対応できる体制）</p>
1 3	<p>子どもだけでも予防接種費用が、インフルエンザも含めて全て補助を出していただけると嬉しいです。</p> <p style="text-align: right;">(20代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 予防接種は、個人の病気の発症予防や重症化予防とともに、集団感染やまん延予防という社会防衛的役割もあり、疾病の予防に有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、全額助成を行うことは困難な状況です。 市では、重症化しやすい高齢者や集団感染しやすい小児に対して、小児インフルエンザ予防接種・ロタウイルス感染症予防接種・高齢者肺炎球菌予防接種・高齢者インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業を優先順位をつけて実施しています。 また、感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>
1 4	<p>子どもの予防接種の助成、ありがたいです。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 日頃より健康づくり事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。 今後も市民の方の健康増進を図るため、事業を推進してまいります。</p>
1 5	<p>感染症の情報を細かく知りたいです。例えば何処の小学校の何年生が何の感染症で何人か？なるべく近寄らずに生活するので。</p> <p>あとインフルエンザ予防接種の予約が毎年取りづらいです。土、日曜にインフルエンザ予防接種が出来るところを増やしてほしい。以前家族全員ノロにかかり自分が辛いのに子どものめんどうも見なくちゃいけないので大変でした。介護されたかった。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。</p>

	<p>市では国や県からの警報等、注意喚起があった際には、ホームページ等で情報提供を行っております。</p> <p>また、我孫子市に特化した情報ではありませんが、管轄の松戸保健所ホームページにて千葉県と東葛管内の感染症情報が公開されていますので、ご活用ください。</p> <p>感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。</p> <p>インフルエンザ予防接種のご予約に関しては、接種を希望する方に直接医療機関にご連絡して頂いております。現在ワクチンの数が不足しており、例年よりも予約が取りにくい状況かと思いますが、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
16	<p>我孫子市は、信頼できる病院は少なく、特に小児科はかかるのに躊躇します、また行っても結局柏市の病院でみてもらうことになります。色々な病気をかかえる子供にも対応できる町になってほしい。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>慢性的に医師が不足している小児科をはじめとして、夜間・休日・緊急時の医療体制の一層の充実が求められています。市では、7病院（市内6つの救急病院と取手市のJAとりで総合医療センター）と救急協定を締結しており、夜間も、市民から消防本部への問い合わせがあった際、対応できる病院をご案内できる体制を整えています。</p> <p>なお、名戸ヶ谷あびこ病院では24時間365日小児も含めて全ての救急を受け入れ、小児科医師ともオンコール※で連携をとりながら対応しています。（※オンコール：携帯電話・タブレット等で常に連絡をとり対応できる体制）</p>
17	<p>広報活動をもっと多くして下さい。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p> <p>日頃より健康づくり事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。</p> <p>国や県等から健康づくりに関するパンフレットの提供があった際は、保健センターの1階等に設置しているほか、市独自で作成している保健センターだよりでも情報発信をしております。広報やホームページでの情報発信のほか、健康づくりに関する情報のメール配信もしておりますので、是非ご登録ください。</p> <p>〔ホームページ：トップページ>市政情報>広報>メール配信サービス〕</p> <p>また、管轄の松戸保健所ホームページにて千葉県と東葛管内の感染症情報が公開されていますので、是非ご活用ください。</p> <p>今後も市民の方の健康増進を図るため、事業を推進してまいります。</p>
18	<p>子供の任意接種の予防接種の費用助成を早くすすめてほしい。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>予防接種は、個人の病気の発症予防や重症化予防とともに、集団感染やまん延予防という社会防衛的役割もあり、疾病の予防に有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、助成の拡大を行うことは困難な状況です。</p> <p>市では、小児インフルエンザ予防接種・ロタウイルス感染症予防接種の費用の一部を助成する事業を実施しています。今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施</p>

	策について検討してまいります。
19	<p>大腸ガン検診が、便検査なのはレベルが低い。胃ガンレントゲン検査もレベルが低い&放射線問題が大きい。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 市で行う大腸がん検診については、国の定める指針に基づき実施しております。ご理解くださいますようお願いいたします。 国立研究開発法人国立がん研究センターによると、市が実施している胃がん検診の胃X線検査1件あたりの実効線量は0.6mSvであり、健康に影響を与える放射線被ばくはないと考えられています。 また、胃がん検診については、平成28年2月に改定された国の指針に基づき、市でも胃内視鏡検査の導入に向けて検討をしております。受診方法、実施体制の整備等、様々な課題があるため、今後協議会等での検討を通して、実施に向けて調整してまいります。</p>
20	<p>小児科が減っていて、すぐに診てもらえる安心感がなくなった。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 慢性的に医師が不足している小児科をはじめとして、夜間・休日・緊急時の医療体制の一層の充実が求められています。市では、7病院（市内6つの救急病院と取手市のJAとりで総合医療センター）と救急協定を締結しており、夜間も、市民から消防本部への問い合わせがあった際、対応できる病院をご案内できる体制を整えています。なお、名戸ヶ谷あびこ病院では24時間365日小児も含めて全ての救急を受け入れ、小児科医師ともオンコール※で連携をとりながら対応しています。（※オンコール：携帯電話・タブレット等で常に連絡をとり対応できる体制）</p>
21	<p>感染症が増えているのだろうが、手洗いうがい以外の予防はしていないし。仮に罹ったとしても自然に治癒されると思っているため、今年からは予防接種も受けるのをやめた。副作用の方が心配。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 感染症を予防するためには、予防接種のほかに、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛ける他、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後とも健康づくりの推進にご協力くださいますようお願いいたします。</p>
22	<p>我孫子広報できちんと知らせてくれればよい。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 日頃より健康づくり事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。 今後も市民の方の健康増進を図るため、広報等で周知し、事業を推進してまいります。</p>
23	<p>現在どの程度、どの病気が流行っているか、常に我孫子市の広報に配信してほしい。子供がいる家庭や年寄りがいる家庭に</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。</p>

	<p>市では国や県からの警報等、注意喚起があった際には、広報やホームページ等で情報提供を行っております。</p> <p>また、我孫子市に特化した情報ではありませんが、管轄の松戸保健所ホームページにて千葉県と東葛管内の感染症情報が公開されていますので、ご活用ください。</p> <p>今後も市民の方の健康増進を図るため、情報提供を行ってまいります。</p>
24	<p>予防接種の副作用や注意すべきことを相談したりする機関が身近な場所にあるといいです。保健センターは遠いです。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 感染した場合の症状やリスク、予防接種の作用・副作用については、予診票に同封しているご案内や、ホームページでも情報提供を行っています。 また、お電話でのご相談もできますので、健康づくり支援課（7185-1126）までご連絡ください。</p>
25	<p>健康保険にしても介護保険にしても病気にならないように予防に努め極力使わないで済むように各人が努力すること市政は要請していくことが大切だと思う。</p> <p>また市政では縦割り組織でこのような事に取り組んでいるが高齢者支援課とか健康センターとか文化・スポーツ課とかが連絡を密にとって行事を1本化していった方が効率的だし効果的だと思う。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 市では「第2次心も身体も健康プラン」を策定しており、基本理念を「自ら取り組む、みんなで続ける健康づくり」としています。 健康づくり支援のための環境整備、自主的な健康づくりの支援を行っており、広報、ホームページ等での啓発を行っています。 今後も市民の方の健康増進を図るため、関係課と連携を取りながら、計画を推進してまいります。</p>
26	<p>2歳の子どもを育てている専業主婦です。主人の健康保険組合では、妻は健康診断が受けられず、自費で受けようにも高すぎて、受けられません。なので、専業主婦になってからはガン検診しか受けてません。東京都江戸川区みたいに専業主婦でも我孫子市主催か無理なら助成で安く受けられる検診の導入をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 現在市で行っている特定健康診査は、国の方針に基づきメタボリックシンドロームの該当者・予備軍が増加する40歳以上の国民健康保険の方を対象として実施しています。 厳しい財政状況の中、助成の導入や対象者を市独自で拡大させていくことは困難ですが、国や県の動向を注視しながら、市民の方の健康増進を支援できるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。</p>
27	<p>日本では、なかなか仕事を休みにくいという風潮がありますが、感染症にかかったら仕事に行かないこと（休まなければならないこと）が、もっと徹底されるとよいと思います。外出先で感染症の人に接触しないことが、マスク着用以上に感染予防の効果があるのではないかと思います。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p>

	<p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 外出を控えることは感染症予防に重要です。その他にも、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛ける他、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後とも健康づくりの推進にご協力くださいますようお願いいたします。</p>
28	<p>金銭の補助を充実してほしい。 (40代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 予防接種は、個人の病気の発症予防や重症化予防とともに、集団感染やまん延予防という社会防衛的役割もあり、疾病の予防に有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、助成の拡大を行うことは困難な状況です。 今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>
29	<p>大勢の人達が利用する民間のプールや、筋トレ施設の衛生状態に不安があります。保健所の立ち入り検査をしてほしいと思います。器具がバイキンだらけのようで怖い。 (80代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 市にはプールの検査権限がありませんが、100トンを超えるプールに関しては施設の届出をもとに、保健所にて把握しております。器具については、施設ごとの管理となります。 しかし、自らの感染症の予防には、こまめな手洗いを心掛けるほか、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後とも健康づくりの推進にご協力くださいますようお願いいたします。</p>
30	<p>感染症は持ち込まない、うつさない、うつらない為、予防が必要と承知しております。 インフルエンザ予防接種の料金が他の都道府県より高いような気がします。また中学校に入ると助成対象ではなくなり、家庭負担が大きくなるため、人口増加を望んでいるのであれば、検討が必要では？と思います。 (40代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 インフルエンザの予防接種は自由診療（健康保険適応外）のため、人件費・診察費用等を含んだ料金を医療機関独自で設定するため、値段に差が生じます。 また、インフルエンザ予防接種の最も大きな効果は重症化予防であり、予防接種は有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、すべての方を対象とした助成を行うことは困難な状況です。 市では、重症化しやすい高齢者や、集団感染しやすい小児に対して、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業を、優先順位をつけて実施しています。 感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>

3 1	<p>小さな子どもがいると、これからの時期は感染症に敏感になります。マスクの着用や予防接種以外に有効な情報があれば教えていただきたいです。たとえば、ノロ対策グッズの配布と説明など。 (30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 飛沫感染・接触感染を防ぐためには、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けるほか、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。 国や県等から健康づくりに関するパンフレットの提供があった際は、保健センターの1階等に設置しているほか、市独自で作成している保健センターだよりでも健康づくりに関する情報をご紹介します。保健センターだよりは市内の公共施設等で配布しております。また、ホームページからダウンロードすることもできますので、是非ご活用ください。 また、ノロウィルス対策については、29年1月号にて掲載しておりますので、ホームページからご確認ください。 【トップページ>健康・福祉>健康>保健センターからのお知らせ>健康づくり情報>保健センターだより】</p>
3 2	<p>感染症の説明が不足しています。 (80代 男性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 国や県等から健康づくりに関するパンフレットの提供があった際は、保健センターの1階等に設置している他、市独自で作成している保健センターだよりでも健康づくりに関する情報をご紹介します。保健センターだよりは市内の公共施設等で配布しております。広報やホームページでの情報発信のほか、健康づくりに関する情報をメール配信しておりますので、是非ご登録ください。 【ホームページ：トップページ>市政情報>広報>メール配信サービス】 また、管轄の松戸保健所ホームページにて千葉県と東葛管内の感染症情報が公開されておりますので、ご活用ください。</p>
3 3	<p>今年はインフルエンザのワクチンが少なく10月に予約したら12月まで待たなくてはならないとの事。これでは流行が心配です。 (60代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】 ご意見ありがとうございます。 インフルエンザ予防接種に関しては、今年度のワクチン製造に遅れが生じているため、全国的にワクチンの数が不足しており、例年よりも予約が取りにくい状況かと思いますが、ご理解くださいますようお願いいたします。 また、そのような状況を受け、市では今年度に限り、小児インフルエンザ・高齢者インフルエンザの予防接種期間を平成30年1月31日まで延長しております。 飛沫感染・接触感染を防ぐためには、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けるほか、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。健康づくりの推進にご協力くださいますようお願いいたします。</p>
3 4	<p>インフルエンザの助成は、子供だけでなく家族もあるとうれしいです。 (30代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p>

	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>インフルエンザ予防接種の最も大きな効果は重症化予防であり、予防接種は有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、すべての方を対象とした助成を行うことは困難な状況です。</p> <p>市では、重症化しやすい高齢者や、集団感染しやすい小児に対して、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業を、優先順位をつけて実施しています。</p> <p>感染症を予防するためには、飛沫感染・接触感染を防ぐため、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けることや、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。</p> <p>今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>
35	<p>おたふくも助成お願いします。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>おたふく風邪の予防接種については、国で導入を検討している状況です。</p> <p>今後も、国の予防接種事業の動向を注視しながら、市民の健康を守る施策について検討してまいります。</p>
36	<p>子どもや老人または希望家庭に手指消毒の無料配布</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【健康づくり支援課 回答】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>アルコールを含んだ消毒液で手指を消毒することは疾病の予防に有効な対策ですが、市の限られた財源の中で、無料配布を行うことは困難な状況です。</p> <p>飛沫感染・接触感染を防ぐためには、帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛ける他、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。健康づくりの推進にご協力くださいますようお願いいたします。</p>

(2) その他市政に対するご意見やご感想

1	<p>広報を見られる箇所がもっと身近にあるといいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p> <p>【秘書広報課 回答】</p> <p>広報あびこは、新聞折り込みのほかに、行政サービスセンターや公民館、市民プラザ、市内の郵便局などで配布しており、広報を自宅にお届けする宅配も行っています。</p> <p>また、市ホームページでは発行日にPDF版を公開しています。スマートフォンをご利用の方はアプリ「マチイロ」をインストールすると発行日に通知が届き、無料でいつでもどこでも閲覧することができますので、ぜひご利用ください。</p>
2	<p>近隣センターなどの予約が取りにくくなっています。難しいとは思いますが、地域のグループ活動の整理が必要なように思いますが。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】</p> <p>近隣・市民センターは、「ちば施設予約サービス」の使用者登録をしている市民の方ならば、どなたでも市内の全近隣・市民センターの利用ができます。予約が取りにくくなっているとのことですが、人気のあるセンターや時間帯はどうしても倍率が高くなってしまいます。抽選申し込み</p>

	<p>をする際に、倍率を確認できますので、申し込み件数が少ない部屋に申し込みをしていただければ、当選の可能性は高くなります。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
3	<p>我孫子市の小児科救急の充実を希望します。</p> <p>JA とりで医療センターにかかったり入院することも多く、費用を償還払いするのですが、会社の保険からも手続きをするので、全て返還されるのが、半年ほどかかり負担が大きい。</p> <p>県外に外来通院すると、その都度手続きしたり、小さい子どもを連れては負担が大きい。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【子ども支援課 回答】</p> <p>子ども医療費助成事業は、千葉県が制度の方針を示し、それに従って市が実施しています。そのため、子ども医療費助成受給券は、我孫子市内の医療機関だけでなく、千葉県内の医療機関でご利用いただけます。一方、県外で受診された場合は、受給券が使用できず、償還払いとなります。大変お手数をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。また、子ども医療費助成金交付申請は、申請書と必要書類の郵送によるお手続きも可能です。</p> <p>我孫子市では、全国で子ども医療費助成受給券が使えるよう、国に対し、全国で統一した制度として整備するよう毎年要望を出しており、今後も継続して要望していきます。</p>
4	<p>医療費助成制度 学生・社会人関係なく 二十歳までにしてもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【子ども支援課 回答】</p> <p>子ども医療費助成制度について、千葉県は補助基準助成対象を、通院は小学3年生まで、入院は中学3年生までとしており、自己負担額を300円とし、所得制限を設けています。</p> <p>これに対し、我孫子市は助成対象を通院・入院ともに中学3年生までとし、所得制限を設けず、自己負担額を200円としています。そのため、小学4年生から中学3年生までの通院分と千葉県の所得制限以上の子どもについては、市の単独事業として実施しています。そのような中で、更なる年齢拡大は難しい状況です。</p>
5	<p>すくすく広場など、子育て広場のお手紙に色々書かれていて参考になります。子育てメールもありがたいです！これからも様々な情報配信をおねがいします！</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【保育課 回答】</p> <p>ありがとうございます。これからも様々な情報発信を行いながら、みなさまに愛される広場であることに心がけていきます。</p>
6	<p>感染症による保育園の登園禁止は困ってしまう。子供のことを考えると仕事を休んで看病するのが当然であるのはわかるし、登園による感染拡大を防ぐのもよくわかるが、それでも現実的に休めない時もあるし、親戚は近くにいないし。悩んでいる人は多いと思う。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p> <p>【保育課 回答】</p> <p>保育園は毎日長時間にわたり集団生活をする場所で濃厚な接触の機会が多く、感染症への対応が非常に困難な場所になります。感染症の蔓延を防ぐために、国の「保育所における感染症対策ガイドライン」に準じて、登園については一定の制限があることをご理解いただけますと幸いです。また、症状等によっては病児保育（名戸ヶ谷あびこ病院）やファミリーサポートセンターをご利用いただくこともできますので、ご検討ください。</p>
7	<p>感染症が流行る時期は、病児保育室が混み合って予約がとれないことが困ります。登園停止の全ての期間仕事を休むのは厳しいです。インフルエンザが流行る時期などは、定員を増やして欲しい。</p>

	<p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【保育課 回答】 病児・病後児保育の定員拡大は病院側の受け入れ体制や保育室スペースに限りがあることから難しい状況にあります。 病児・病後児保育は感染症が流行る時期など特に予約が混み合いますが、予約のキャンセルも多く出ることから、予約方法の見直しを行い11月1日から予約方法を一部変更しました。 また、症状等によってはファミリーサポートセンターの病児・病後児保育をご利用いただくこともできますので、ご検討ください。</p>
8	<p>ジャパンボードフェスティバルを見学しました。全国や海外からの出店もあり楽しかったです。我孫子の野鳥にも興味がわきました。水の館は上階に工夫があれば尚良いと思いました。天候に恵まれてラッキーでした。来年も是非参加したいです！</p> <p style="text-align: right;">(50代 男性)</p> <p>【手賀沼課 回答】 ジャパンボードフェスティバルにご来場いただきましてありがとうございます。当日はオオバン広場の足場状態が悪く、ご来場の皆さまにはご不便をお掛けいたしました。楽しんでいただけたのであれば大変うれしく思います。なお、鳥の博物館では、毎月野鳥を中心とした自然観察会「てがたん」を実施しておりますので、ご参加いただければより野鳥に興味を深まることと思います。 水の館の上階につきましては、今年は休憩スペースとしての利用が大部分を占めておりましたが、来年度からは出展ブースを設けるなど、よりお楽しみ頂けるように工夫していきます。 来年のジャパンボードフェスティバルは11月3日(土)、4日(日)に開催いたしますので、是非またお越しください。</p>
9	<p>天王台駅周辺の商店街の活性化に期待します。会社の帰りに立ち寄りたくなるような魅力店な店があると嬉しいです。</p> <p style="text-align: right;">(50代 女性)</p> <p>【商業観光課 回答】 商業観光課では、空き店舗の利用促進と商業の活性化を図ることから、「空き店舗活用補助金制度」があります。平成23年からの6年間で、55店舗が制度の適用を受けて出店し、商業活性化に一定の成果があったものと認識しています。必ずしも、みなさんにとって魅力のある店舗とは限りませんが、この制度を活用して魅力あるお店が増えるよう努めていきます。</p>
10	<p>最近旧あびこん付近のふれあい道路際の家庭菜園が閉園すると聞きました。旧あびこんから根戸新田交差点までの開発計画に進展があったのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p> <p>【商業観光課・都市計画課 回答】 ご質問の区域(旧あびこんから根戸新田交差点まで)は、我孫子新田地区を一部含みますが、大半は根戸新田地区の区域となっています。根戸新田地区は、原則として農地として利用する農用区域に指定されており、これまで同様、開発は困難な状況です。 一方、我孫子新田地区においては、我孫子市最大の観光資源である手賀沼を生かした観光振興を図るため、昨年12月に「手賀沼観光施設誘導方針」を策定するとともに、この方針に沿ったまちなみを誘導する「我孫子新田地区地区計画」を今年6月に都市計画決定したところです。現時点では個別の開発計画は申請されていませんが、今後、我孫子新田地区で土地利用の転換がなされる場合には、この方針や地区計画に沿った土地利用が図られていくものと考えています。</p>
11	<p>選挙に関する意見ですが不在者投票で理由に天候を入れてほしい。他の町には理由に天候があり、理由が6つあるらしい。裁判官と比例代表の用紙を二枚同時に渡されたが、別々に1枚ずつ渡し</p>

	<p>てほしい。二枚一緒だと、裁判官のほうがかきちんと記入しづらい。記入しないのをありきのよう (20代 女性)</p> <p>【選挙管理委員会事務局 回答】 ご意見ありがとうございます。 期日前投票を行う事のできる理由は、公職選挙法により以下の6つ定められています。 1：仕事等による場合、2：旅行等による場合、3：病気等による場合、4：離島等に居住の場合（千葉県においては該当がありません）、5：住所移転による場合、6：天災（悪天候）等による場合 今回6の事由が公職選挙法の改正により付け足されましたが、システム改修と投票所入場整理券の変更が間に合わずご不便をおかけして申し訳ありませんでした。次回の選挙の際には、対応するようにいたします。 次に比例区の投票用紙と国民審査の投票用紙を同時に交付する件ですが、1枚ずつ渡しますと受け取ってそのまま投票箱に入れる方が多いことが問題視され、総務省は、投票用紙を記載台に持って行くようにするため、通達（千葉県経由）により、平成24年に執行された衆議院総選挙から2枚同時に交付するようになっております。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
1 2	<p>公立小学校での感染症予防に力を入れて欲しい。消毒など…。 (30代 女性)</p> <p>【学校教育課 回答】 市内小・中学校19校へ感染症予防に役立てていただく為に、アルコール消毒液や塩素系消毒剤を配布しています。また、学校でも児童生徒へうがいや手洗い指導、給食の配膳を行う前に消毒液を使用し感染症予防に努めています。今後も引き続き、県や松戸健康福祉センター（松戸保健所）と情報の連携を図りながら、インフルエンザ等の抑止に努めていきます。</p>